nord electro 5

ユーザー・マニュアル

日本語

Nord Electro 5D 61
Nord Electro 5D 73
Nord Electro 5HP 73

OS Version: 1.0x

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

WARNING:
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN

AVERTISSEMENT:
RISQUE DE CHOC ÉLECTRIQUE—NE PAS OUVRIR.

注意　感電の恐れあり、キャビネットをあけるな

マークには次のような意味があります。

このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

⚠	△ 記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。 記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
🚫	⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。 記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
●	● 記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。 記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

⚠警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。
  感電やショートの恐れがあります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。

- 次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
  - ○ 電源コードやプラグが破損したとき
  - ○ 異物が内部に入ったとき
  - ○ 製品に異常や故障が生じたとき

  修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。

- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。
- 電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。
  電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。
  大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。
- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管はしない。

- 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。

- 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
- 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- 本製品に液体をこぼさない。

- 濡れた手で本製品を使用しない。

⚠注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります

- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
  ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- 電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。

- 本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
  電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。

- 付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。
  付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。
  本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
  故障の原因になります。
- 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。
- 不安定な場所に置かない。
  本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。
  本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- 本製品の隙間に指などを入れない。
  お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- 地震時は本製品に近づかない。
- 本製品に前後方向から無理な力を加えない。
  本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。データを他のメディア等へセーブすることのできる製品では、大切なデータはこまめにセーブすることをお勧めします。

輸入販売元: KORG Import Division
〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2
//www.korg.co.jp/KID/

1. はじめに

ありがとうございます!

この度はNord Electro 5をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。Nord Electroシリーズは、トラディショナルなエレクトロメカニカル・キーボードのサウンドやフィールなどを忠実に再現し、しかも軽量コンパクトなパッケージで実現することを開発のゴールとしています。このNord Electro 5では、これまでのNord Electroの各種機能を単に進化させただけでなく、サンプル・シンセサイザー・セクションや2ティンバー構成という新機能も追加しています。2ティンバー構成の採用により2種類の音色を重ねることができ、より多くのサウンド・バリエーションをよりプレイヤー・フレンドリーな形で実現できました。

商標について

本マニュアルに記載のブランド名や製品名等は、各保有者の商標であり、Clavia ABとは一切関係ありません。また、これらの商標は本機の機能やサウンドを説明するためにのみ使用しています。

目次

1. はじめに 3
- **ありがとうございます! 3**
- **商標について 3**

2. オーバービュー 4

3. 使い始める 5
- **パート 5**
- **プログラム 5**
  - プログラムの保存とリネーム 6
  - ライブ・プログラム 6
- **オルガン 7**
  - プリセット1とプリセット2 7
  - ドローバー・ライブとドローバー・シンク 7
  - B3モデル 7
  - PIPEモデル 8
  - VXモデル 8
  - FARFモデル 8
- **ピアノ 8**
  - ロング・リリース機能 8
  - ストリング・レゾナンス機能 9
  - モノ・モード 9
  - キーボード・タッチ 9
  - Nordピアノ・ライブラリーのサイズ別機能比較 9
- **サンプル・シンセ 9**
  - ダイナミクス機能 9
  - フィルター・ベロシティ 9
  - エンベロープ・コントロール 9
- **エフェクト 10**
  - EFFECT 1 10
  - EFFECT 2 10
  - SPKR/COMP 10
  - DELAY 10
  - EQ 11
  - REVERB 11
- **SET LISTモード 11**
  - ソングで使用するプログラムを選択する 11
  - ソング、セット・リストを保存する 12
  - エディットしたプログラムをセット・リスト・モードから保存する 12
- **LIST VIEWモード 12**
  - プログラム、セット・リストのリスト・ビュー 13
  - ピアノ・サウンドのリスト・ビュー 13
  - サンプル・シンセのリスト・ビュー 13
  - オーガナイズ機能 13

4. MIDI 14
- **使用例1:Nord Electro 5をコントローラーとして使用する 14**
- **使用例2:Nord Electro 5のアッパー・パートでの演奏をMIDI送信する 14**
- **使用例3:MIDIアッパー・レシーブ・モードでアッパー・パートのMIDIメッセージを受信する 15**
- **使用例4:シーケンサーを使用する 15**

5. メニュー 16
- **SYSTEM 16**
- **MIDI 16**
- **SOUND 16**

6. NORD SOUND MANAGER 17
- **動作環境 17**
- **インストールする 17**
- **オーバービュー 17**
- **サウンドやサンプルをダウンロードして転送する 17**
  - ピアノ・サウンドをダウンロードする 18
  - サンプル・シンセのサンプルをダウンロードする 18
  - サウンドやサンプルをデリートする 18
  - サウンドやサンプルを入れ替える 18
- **バックアップを取る 19**
  - サウンド・アップ、サウンド・ダウン 19
  - バンドル・アップ、バンドル・ダウン 19
  - バックアップ、レストア 19

付録 I : 接続端子 20
- **オーディオ端子 20**
  - HEADPHONES 20
  - LEFT OUT、RIGHT OUT 20
  - MONITOR IN 20
- **MIDI端子 20**
  - MIDI IN 20
  - MIDI OUT 20
- **USB端子 20**
- **ペダル端子 20**
  - SUSTAIN PEDAL 20
  - ROTOR PEDAL 20
  - CONTROL PEDAL 20

付録 II : MIDIコントローラー・リスト 21

仕様 22

インデックス 23

2. オーバービュー

エンドレス・ノブ

スタンダード・ノブ

Nord Electro 5のフロント・パネルは、ノブやスイッチなどほぼすべてのパフォーマンス機能をパネル上に配置し、ライブなどでも使いやすいように配置されています。

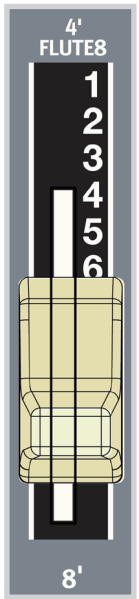
このフロント・パネルは大きく分けてオルガン、ピアノ、プログラム、サンプル・シンセ、エフェクトの5つのセクションに分かれています。各セクションの詳細につきましては、後述します。

マスター・ボリュームなど連続的に変化するパラメーターにはスタンダード・ノブを使用しています。プログラムのブラウズやスクロールなど、一部のノブではエンドレス・ノブ（ロータリー・エンコーダー）を使用しています。また、ノブの一部には2つの機能を兼ねているものもあり、その時選択しているモードによって機能が変わります。そのようなノブの機能名は「**PROG/MENU**」というように「/」で区切ってあります。

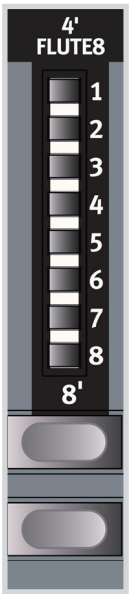
プログラムを呼び出した（ロードした）時、各パラメーターの設定値とノブの位置は一致しないことが多くありますが、ノブを回し始めるとすぐにそのパラメーターの値がノブの位置と一致します。またパラメーターの値を変更すると、その値がOLED（有機LED）ディスプレイに表示されます。

ℹ *〔**SHIFT**〕ボタンを押しながらノブを回すと、ノブの設定値（メモリーされている値）がディスプレイに表示されます。この時、そのパラメーターの値は変更されません。*

機能のオン/オフや設定を切り替えるタイプのパラメーターには、ボタンを使用しています。2つの機能を兼ねているボタンも多くあり、2つ目の機能は〔**SHIFT**〕ボタンを押しながらそのボタンを押すとアクセスできます。また、その機能名はボタンの下にプリントされています。



フィジカル・ドローバー
（5Dモデル）



デジタル・ドローバー
（5HPモデル）

5Dモデル（61、73鍵）は、オルガン音色の設定用として物理的なドローバーを装備しています。また、5HPモデルではLEDとボタンによるデジタル・ドローバーを装備しています。

パネル上のLEDは、その機能がオンの時に点灯し、オフの時には消灯します。また、点滅する場合もあります。例えば、メニューLEDが点滅している場合、そのメニューに入っていることを表示します。この他にも、2つのパート（アッパー、ロワー）で同じサウンド・ソース（オルガン、ピアノ、またはシンセ）を使用している場合、サウンド・ソース・セレクター（ディスプレイの下）のLEDがゆっくりと点滅します。

3. 使い始める

パート

Nord Electro 5は2ティンバー構成です。つまり、2つの別々の音色を同時に演奏することができます。各パート(ロワー、アッパー)のサウンド・ソースは〔**PART LOWER**〕、〔**PART UPPER**〕の各エリアにLEDで表示されます。各パートとも、サウンド・ソースは次の3種類から選択できます:

- オルガン・モデル
- ピアノ・エンジン
- サンプル・シンセ

各パートはプログラム・エリア(上図)で選択でき、それぞれの音量バランスは〔**PART MIX**〕ノブで調整できます。また、**KB SPLIT**(キーボード・スプリット)モードの場合は鍵盤を2つのエリアに分割し、左手側がロワー、右手側がアッパーになります。鍵盤を2つのエリアに分割する位置(スプリット・ポイント)の設定は、〔**KB SPLIT**〕ボタンを押しながら〔**VALUE**〕ダイアルを回して6カ所のスプリット・ポイント(C3、F3、C4、F4、C5、F5)から選択します。この時、フロント・パネル最下部(鍵盤の近く)でLEDがグリーンに点灯している位置がスプリット・ポイントです。

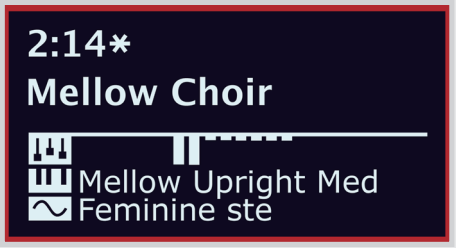
ℹ *〔KB SPLIT〕ボタンは、アッパー・パートを外部コントローラーで演奏する場合や、アッパー・パートのみのMIDIメッセージを送信する際にも使用します。このような機能を使用する場合にはアッパー・パートのMIDIチャンネルを別途設定する必要があります。詳しくは14ページ以降のMIDIチャプターをご参照ください。*

〔**OCTAVE SHIFT**〕ボタンを押すと、そのボタンを押したパートのピッチがオクターブ単位で上下します。この機能により上下できる幅は、キーボード・スプリット機能のオン/オフ状況により変化します。

〔**TRANSPOSE**〕ボタンを押すとトランスポーズ機能がオンになり、上下6半音までの範囲でキーボードをトランスポーズ(移調)させることができます。また、〔**TRANSPOSE**〕ボタンを押しながら〔**VALUE**〕ダイアルを回すと、トランスポーズさせる幅を設定できます。

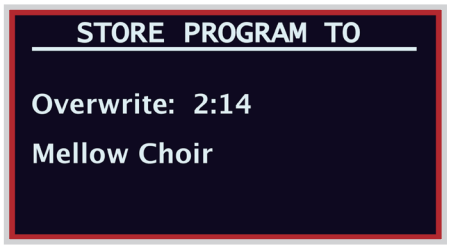
プログラム

プログラム・モードを選択している場合、その時に選択しているプログラム名がバンク、プログラム・ナンバー(コロン「:」で区切られています)とともにディスプレイに表示されます。この時、ディスプレイ下段には使用できるサウンド・エンジンのアイコンが表示されます。オルガン・モデルを使用している場合は、ドローバーの設定も表示されます。ピアノ、サンプル・シンセを使用している場合はそのプログラムで使用しているサウンド名が表示されます。また、プログラムの内容をエディットすると、プログラム・ナンバーの右側にアスタリスク(「」)が表示されます。なお、プログラムの内容をエディットし、保存せずに別のプログラムを選択すると、エディットした内容が消去されてしまいますのでご注意ください。*



1つのプログラムには各サウンド・エンジンの音色設定やエフェクトの設定、2パートを使用していない場合でも2パート分の設定に関係するすべてのパラメーターの設定がメモリーされます。また、各プログラムの全体音量を〔**GAIN**〕ノブで設定することもできます。〔**GAIN**〕ノブの設定もプログラムの一部としてメモリーできますので、プログラムごとの相対的な音量差をこのノブの設定で調整できます。

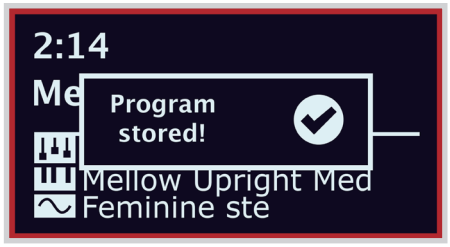
Nord Electro 5には、最大400個のプログラムをメモリーできます(8バンク×50プログラム)。〔**PROG**〕ノブを回すとプログラムがスクロールします。



プログラムの保存とリネーム

エディットしたプログラムを保存するには、まず〔**STORE**〕ボタンを押します。すると画面表示が「STORE PROGRAM TO」に切り替わり、プログラムの保存先の番号が表示されます。この時、〔**PROG**〕ダイアルを回すと保存先の番号を変更できます。

〔**STORE**〕ボタンをもう一度押すと保存を実行します。保存を実行すると、左下図のメッセージが画面に表示され、保存が完了します。



保存を中止したい場合は〔**EXIT**〕ボタンを押します。この時、「Store aborted!」(保存を中止しました)のメッセージが画面に表示され、エディットしたプログラムは保存されていない状態のままとなります。

プログラムに新たな名前を付けて保存する手順は、次の通りです：

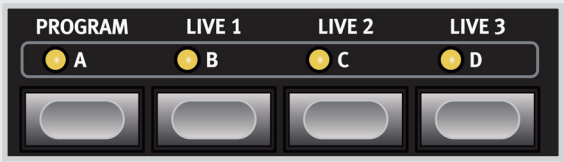
1. 〔**STORE AS...**〕を選択します(〔SHIFT〕+〔STORE〕)。すると画面表示が「STORE PROGRAM AS」(別名で保存)に切り替わります。この時、プログラム名の先頭でカーソルが点滅します。
2. 〔**SHIFT**〕ボタンを長押しすると、プログラム名の下にアルファベットの行が表示されます。
3. 〔**VALUE**〕ダイアルを回して入れたい文字をハイライト表示させます。
4. 〔**SHIFT**〕ボタンを放すとプログラム名のカーソルが次の文字に移動します。この時、〔**VALUE**〕ダイアルで変更したい文字の位置にカーソルを移動させることもできます。

また、カーソルの位置で**DEL**(デリート)を選択すると、その位置の文字が消去され、**INS**(インサート)を選択すると、その位置にスペースが挿入されます。

上記の手順を繰り返して新たなプログラム名を入力します。入力が完了しましたら、〔**STORE**〕ボタンを押して画面を「STORE PROGRAM TO」の表示に切り替えます。この状態で〔**STORE**〕ボタンをもう一度押すと保存を実行します。別のプログラム番号に保存したい場合は、〔**PROG**〕ダイアルを回して保存先を選択してから〔**STORE**〕ボタンを押して保存を実行します。

ライブ・プログラム

ライブ・プログラムを選択した場合、ディスプレイの表示は通常のプログラムを選択した時と同様です。ライブ・プログラムは、PROGRAMエリアの〔LIVE 1〕～〔LIVE 3〕ボタンを押して選択します。



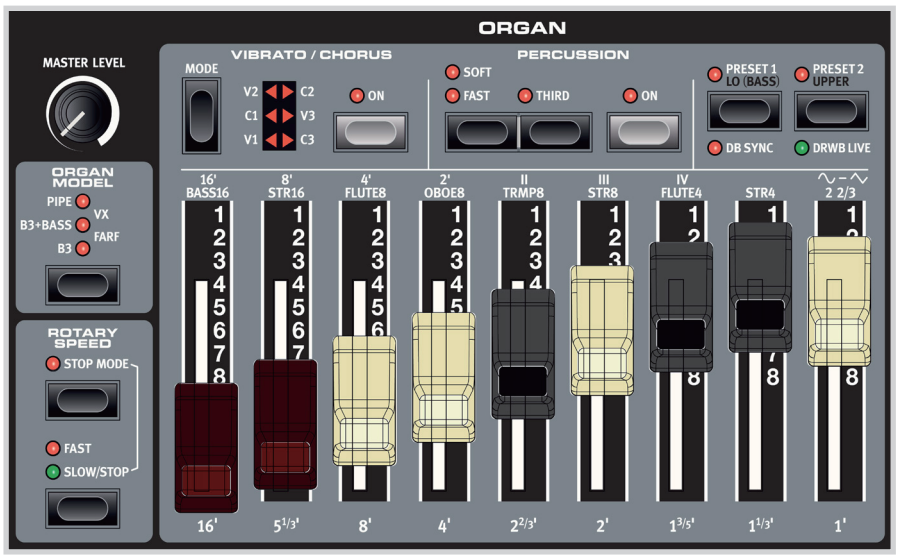
Nord Electro 5には、3つのライブ・プログラムがあります。ライブ・プログラムは通常のプログラムとは異なり、エディットをすると保存操作をすることなく自動的に保存され、本機の電源を切ってもその状態が維持されるプログラムです。

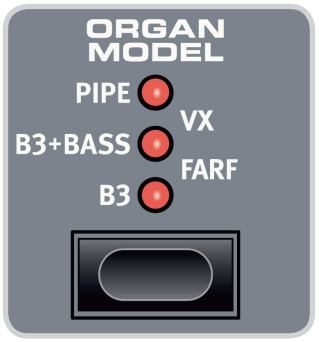
通常のプログラムをライブ・プログラムに保存する

ライブ・プログラムを通常のプログラム・バンクに保存することができます。手順は、〔**STORE**〕ボタンを押し(この時〔**STORE AS...**〕も選択できます)、次に〔**PROGRAM**〕ボタンを押します。この状態で、その時選択されている通常のプログラムに上書き保存することができます。また、〔**PROG**〕ダイアルを回して別のプログラムに保存することも可能です。

同様に、通常のプログラムをライブ・プログラムにコピーすることもできます。手順は、〔**STORE**〕ボタンを押し、次に3つのライブ・プログラムのいずれかを押します。もう一度〔**STORE**〕ボタンを押すと、通常のプログラム内容が選択したライブ・プログラムにコピーされます。

オルガン





オルガン・セクションには、トーンホイール式、トランジスタ式オルガン、さらにパイプ・オルガンのサウンドを忠実に再現した各オルガン・モデルを内蔵しています。オルガン・セクションでの音作りはドローバーが中心となり、そのセッティングはプログラムとして保存できます。

プリセット1とプリセット2

各プログラムのオルガン・モデルには2つのドローバー・セッティングがメモリーされ、〔**PRESET 1**〕または〔**PRESET 2**〕ボタンを押すとそのセッティングがディスプレイに表示されます。また、各プリセットにはビブラート/コーラスやパーカッションのセッティングもメモリーできます。

ドローバー・ライブとドローバー・シンク

ドローバー・ライブ機能（〔**SHIFT**〕+〔**DRWB LIVE**〕）は、ドローバーのセッティングを常にパネル上のセッティングで使用したい場合に便利な機能です。この機能を使用したプログラムを選択すると、ドローバーのセッティングはその時のパネル上のドローバー・セッティングで演奏できます。また、ドローバー・シンク機能（〔**SHIFT**〕+〔**DB SYNC**〕）は、その時選択しているオルガン・プリセットのドローバー・セッティングを、パネル上のセッティングに切り替えたい場合に便利な機能です。

ℹ *上記の2機能は、Nord Electro 5Dでのみ使用できる機能です。*

B3モデル

鋼鉄製のギザギザが付いたディスク「トーンホイール」が一定のスピードで回転し、すぐ近くにセットされた電磁式ピックアップにより発生するサイン波を音として利用していたのがトーンホイール式オルガンです。この時に発生するサイン波のピッチは、それぞれのディスクに付けられたギザギザの数で決まり、その音をアンプで増幅させて本体の内蔵スピーカーや外部のスピーカー・キャビネットで鳴らしていました。このようなトーンホイール式オルガンの音を構成するあらゆる要素を、必ずしも当時の設計通りに実現できなかったいわば「怪我の功名」的な部分も含めて忠実に再現したのが、Nord Electro 5のB3モデルです。

Nord Electro 5のB3モデルの9本の各ドローバー名は、オリジナルとなったトーンホイール式オルガンと同じ名前になっています。数字の後ろにある「'」はフィート（長さの単位）で、これはパイプ・オルガンのパイプの長さに由来するものです。また、8'のドローバーは、ファンダメンタル（基音）とも呼ばれ、B3サウンドを構成する各倍音の基本部分となります。B3モデルでのドローバー名は、ドローバー・セクションの下にプリントされています。

16'	5 1/3'	8'	4'	2 2/3'	2'	1 3/5'	1 1/3'	1'

B3モデルのビブラートとコーラスも、オリジナルの回転式スキャナー機構をシミュレートしたものを採用しています。それぞれのエフェクトの深さは3段階で選択できます（V1～V3、C1～C3）。

パーカッション

B3モデルでは、パーカッション機能が使用できます。オンにすると、オルガン・サウンドのアタックの部分にアクセントが付き、より歯切れの良いサウンドになります。パーカッションのピッチは、セカンド(4')またはサード(2 2/3')が選択でき、2段階のディケイ・セッティング(スローまたはファスト)、2段階のレベル(ソフトまたはハード)が選択できます。

B3+Bass

B3+BassモードはNord Electro 5の新機能の1つで、オリジナルのトーンホイール式オルガンと同様、ベース用トーンホイール(16'、8')を低音部で使用できます。この機能を使用するには、ロワー、アッパーの両パートでオルガン(B3モデル)を使用し、キーボード・スプリット機能をオンにします。また、キーボード・スプリット機能を使用しない場合、B3+Bassセッティングはオリジナルのトーンホイール式オルガンと同様の動作になります。

🛈 *SOUNDメニューでは、B3モデルの詳細な各種設定が行えます。詳しくは16ページの「SOUND」をご参照ください。*

PIPEモデル

Nord Electro 5のもう1つの新機能、それがパイプ・オルガンを物理モデルで再現した**PIPE**モデルです。PIPEモデルでの音作りはB3モデルと同様、16'～1'の各ドローバーで行います。

VXモデル

VXモデルは、基音のオクターブ違いやその他様々な倍音に対応する16'～IVのドローバーを使って音作りをするトランジスター・オルガンを再現したモデルです。また、このモデルにはオルガン波形をソフトなサイン波と、フィルターがあまりかかっていないブライトなノコギリ波に切り替えるドローバーもあります。

VXモデルでは、周期や深さが異なる3種類のビブラートが使用できます(V1～V3)。

FARFモデル

FARFモデルは、VXモデルとほぼ同時期に活躍したトランジスター・オルガンを再現したモデルで、すぐにそれと分かるサウンドが特徴的でした。このモデルでの音作りは、Bass16～2 2/3タブに対応する各ドローバーを使って行いますが、オリジナルと同様、ドローバーは各タブのオン/オフ・スイッチとして機能します。

FARFモデルのビブラート/コーラスは各2タイプの合計4種類が内蔵されています(V1、V2、C1、C2)。各タイプともオリジナルを忠実に再現したものです。

ピアノ

ピアノ・エンジンには6ポジションのタイプ・セレクターがあり、各タイプにはそれぞれのピアノやピアノ系鍵盤楽器のサウンドが入っています。各タイプ内のそれぞれのサウンド(モデル)はタイプ・セレクターの下にある〔**MODEL**〕ディスプレイに番号で表示されます。また、PROGRAMエリアのディスプレイでも、その時に選択しているピアノ・サウンド名が表示されます。

Nordウェブサイト(www.nordkeyboards.com)では、豊富なピアノ・ライブラリーからお気に入りのサウンドをダウンロードすることができます。Nordピアノ・ライブラリーの各ピアノ・サウンドは、4段階のサイズに分類されています。各サイズでの機能的な違いにつきましては、次のページの表をご覧ください。また、Nord Electro 5のピアノ・サウンド用内蔵メモリーの最大容量は1GBです。

🛈 *ダウンロードしたサウンドをNord Electro 5本体に移す手順につきましては、17ページ以降の「Nord Sound Manager」セクションをご参照ください。*

ロング・リリース機能

ACOUSTICSセクションの最初にある機能が**LONG RELEASE**(ロング・リリース)機能です。この機能はアコースティック・ピアノ、エレクトリック・ピアノに分類された各ピアノ・サウンドに有効で、リリース部分をわずかに長くすることができ、レガート奏法で演奏する場合などに便利です。

ストリング・レゾナンス機能

ピアノ・サウンドの中にはストリング・レゾナンス機能（**STRING RES**）に対応したものもあります。この機能をオンにすると、演奏した音程の弦振動で他の弦が共鳴する現象をシミュレートし、よりリアルなピアノ音色になります。

モノ・モード

モノ・モード（**MONO**）は、ステレオ・サンプリングされたピアノ・サウンドをモノラルで演奏する際に使用します。モノラル時でも弾き心地の良いピアノ・サウンドが得られます。

キーボード・タッチ

演奏するタッチの強さに応じたピアノ・エンジンの反応を3段階で調節できます（1～3）。数値が大きくなるほど、より弱いタッチでベロシティの高いサウンドになります。

Nordピアノ・ライブラリーのサイズ別機能比較

	S	M	L	XL
ステレオ・サンプリング	○	○	○	○
多段階ベロシティ・マッピング	○	○	○	○
ストリング・レゾナンス（中音域のみ）		○		
ストリング・レゾナンス（全音域）			○	○
全鍵サンプリング				○

サンプル・シンセ

Nord Electro 5にはオルガンやピアノ・セクションに加え、最大256MBのメモリー容量を使用できる強力なサンプル・シンセ・セクションがあります。〔**SAMPLE**〕ディスプレイの下にあるノブで内蔵サンプルをスクロールできます。なお、〔SAMPLE〕ディスプレイでは99以上の番号のサンプルはA0～F9として表示されます。

Nordウェブサイト（www.nordkeyboards.com）では、膨大なサンプル・ライブラリーからお気に入りのサンプルをダウンロードすることができます。また、Nordウェブサイトからダウンロードできる PC/Mac用のNord Sample Editorアプリケーションを使用すれば、自分だけのオリジナル・サンプルを作成することも可能です。

ℹ *ダウンロードしたサンプルをNord Electro 5本体に移す手順につきましては、17ページ以降の「Nord Sound Manager」セクションをご参照ください。*

ダイナミクス機能

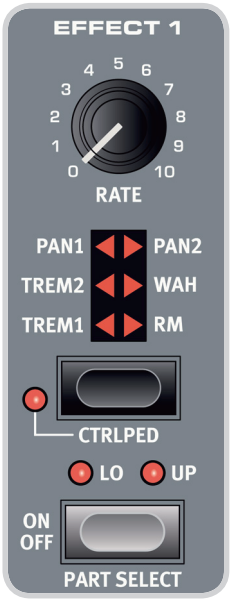
〔**DYNAMICS**〕ボタンを押すとキーボードを演奏するタッチの強弱で反応する深さを4段階（1～3、オフ）で切り替えられます。この機能がオフの場合は、常に最大ベロシティで発音します。オンの場合、数値が高くなるほどタッチの強弱に反応してダイナミックレンジが広くなります（音量差が大きくなります）。

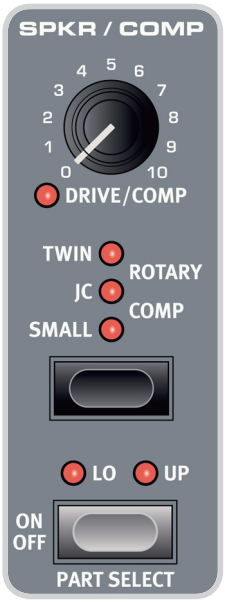
フィルター・ベロシティ

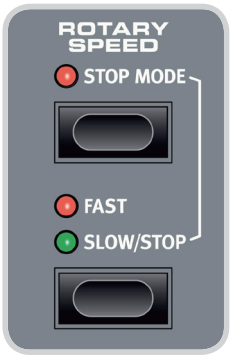
〔**FILTER VEL**〕LEDが点灯している場合、キーボードを演奏するタッチの強弱がサンプル・シンセのローパス・フィルターにもかかります。一般的に、弱いタッチの場合はよりフィルターがかかったマイルドな音色、強いタッチの場合はよりブライトな音色になります。

エンベロープ・コントロール

サンプル・シンセには便利な機能としてエンベロープ・ノブ（〔**ATTACK**〕ノブ、〔**DECAY/RELEASE**〕ノブ）があります。〔**ATTACK**〕ノブでキーボードを弾いた瞬間の音の出だしの立ち上がりの速さを調整し、〔**DECAY/RELEASE**〕ノブではキーボードを弾いた後に音が減衰する速さを調整できます。〔**DECAY/RELEASE**〕ノブの向きが時計の12時の位置（**SUSTAIN**）にある場合はサスティン・モードとなり、キーボードを押し続けている間は減衰せずに同じレベルを維持します。また、このノブの向きが12時の位置を超える（右側に行く）と、キーボードを放した後に音が減衰する速さを調整できます。







エフェクト

エフェクト・セクションにはロワーまたはアッパー・パートに使用できるインサート・エフェクトを4基内蔵しています。また、このセクションにはロワー、アッパー、または両方に使用できるイコライザーや本機全体のサウンドにかかるリバーブ・エフェクトも内蔵しています。リバーブを除く各エフェクト・ユニットには〔**PART SELECT**〕ボタンがあり、これによりエフェクトをかけるパートを**LO**（ロワー）または**UP**（アッパー）に切り替えられます。また、**LO**、**UP**両方のLEDが消えている場合、そのエフェクト・ユニットはバイパスになります。

🛈 *各エフェクト・ユニットの接続順は基本的にパネル上の配列の通りですが、一部例外があります。例えばEFFECT 1セクションにあるPAN（オートパン）は、使いやすさを考慮してSPKR/COMPセクションの後ろに接続されます。*

EFFECT 1

エフェクト1にはトレモロ、パン、ワウ、リング・モジュレーターの各エフェクトが入っています。コントロール・ペダル（**CTRL PED**）機能を使用すると、ノブの操作をコントロール・ペダルで行え、特にワウの操作に便利です。また、パンでは音像が左右に移動する様子をリアルタイムでコントロールできます。

EFFECT 2

エフェクト2にはフェイザー、フランジャー、2タイプのコーラス、新搭載のビブラートの各種モジュレーション・エフェクトが入っています。〔**DEEP**〕ボタンを押すと、エフェクトのかかりがより深くなります。

SPKR/COMP

スピーカー/コンプレッサー・セクションには、4タイプのアンプ/キャビネット・モデル（Small、JC、Twin、Rotary）、真空管の歪みをシミュレートしたDRIVE、音量のバラつきを均一化できるコンプレッサー（COMP）エフェクトが入っています。〔**DRIVE/COMP**〕ノブは、アンプ/キャビネット・モデルを選択している場合はチューブ・ディストーションの深さをコントロールし、コンプレッサー・モードの場合はコンプレッサーの深さを調整できます。

ロータリー・エフェクト

Nord Electro 5のロータリー・スピーカー・エフェクトはLeslie 122をモデリングしたもので、様々な方法でコントロールすることができます。オルガン・セクションにある〔**ROTARY SPEED**〕スイッチで、ロータリー・スピーカーの回転スピードをファストまたはスローに切り替えることができます。また、ストップ・モードではファスト/ストップの切り替えができます。ロータリー・スピーカーのスピード切替は本体上のスイッチの他に、ペダル・スイッチやサステイン・ペダル、Nord Half Moonスイッチを本体リアパネルにある〔ROTOR PEDAL〕ジャックに接続してコントロールすることも可能です（スイッチ、ペダルはいずれも別売オプションです）。

ロワー、アッパー・パートの両方でオルガンを選択し、ロータリー・スピーカーを使用している場合、SPKR/COMPセクションはインサートではなく、本機全体のサウンドにかかるグローバル・エフェクトとして動作します。

🛈 *SOUNDメニューでは、ロータリー・スピーカーの詳細な動作設定が行えます。詳しくは、16ページの「SOUND」をご参照ください。*

DELAY

ディレイ・セクションはステレオ・ディレイを内蔵し、原音とエフェクト成分のバランスを調整できる〔**DRY/WET**〕ノブ、フィードバックの深さを4段階で切り替え可能な〔**FEEDBACK**〕ボタン、ディレイ・タイムを設定する〔**TEMPO**〕ボタンがあります。

〔**TEMPO**〕ボタンを数回叩くと、ディレイ・タイムがBPM単位でディスプレイに短時間表示され、ディレイ・タイムが設定されます（タップ・テンポ入力）。また、〔**TEMPO**〕ボタンを押しながら〔**VALUE**〕ダイアルを回してディレイ・タイムを設定することもできます。

フィードバックがオフの場合（〔FEEDBACK〕LEDが全消灯）、ディレイ音の繰り返しは1回のみとなります。フィードバックがオンの場合は、数値が大きくなるほどディレイ音の繰り返し量が増大します。原音とエフェクト成分（ディレイ音）のバランスは〔**DRY/WET**〕ノブで調整できます。

また、ディレイ・セクションにはピンポン・モード（**PING PONG**）もあり、このモードの場合、ディレイ音が左右のチャンネルを交互に飛び交うエフェクトになります。

EQ

EQセクションには周波数固定タイプの**BASS**、**TREBLE**、そして中心周波数可変タイプのミッド・レンジの3バンドEQを装備しています。各バンドの周波数はベースとトレブルがそれぞれ100Hz、4kHz、ミッド・レンジは〔**FREQ**〕ノブで200Hz～8kHzの間で自在に設定できます。各バンドとも±15dBの範囲でブースト/カットができます。また、EQ はLO（ロワー）のみ、UP（アッパー）のみ、またはLO+UP（ロワー+アッパー）で使用できます。

REVERB

ナチュラルな残響音をシミュレートできるリバーブ・セクションはロワー、アッパー・パートのステレオ信号全体にかかるグローバル・エフェクトです。〔**DRY/WET**〕ノブで原音とリバーブ音のバランスを調整でき、リバーブのタイプにはルーム、ステージ、ホールの各アルゴリズムを内蔵しています。また、ステージとホール・リバーブには高音域を抑えたソフトな質感のもの（STAGE SOFT、HALL SOFT）も内蔵しています。

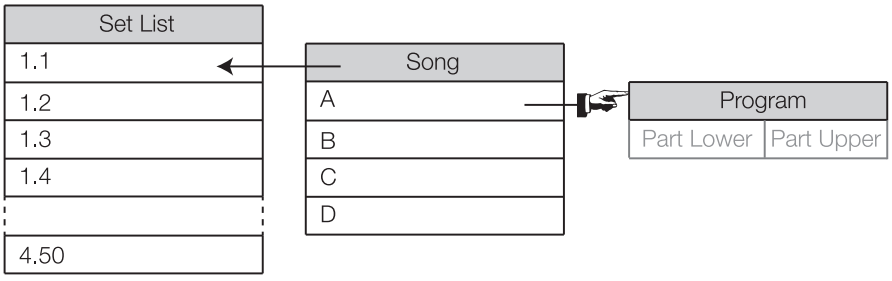
SET LISTモード

*セット・リスト・モードに入るには、〔**SET LIST**〕ボタンを押します。セット・リスト・モードに入るとグリーンのLEDが点灯し、ディスプレイではその時選択されているセット・リストのソング名とそのソングで使用しているプログラム名が表示されます。デフォルト設定では、10種類のサンプル・ソングがメモリーされ、各ソングにはジャンルごとにまとめられたプログラムがセットされています。このサンプル・ソングの内容は自在に変更したりリネームすることができます。*

Nord Electro 5には、例えばライブで演奏する曲ごとに使用するプログラムのグループを作成し、プログラム選択をより簡単に行えるセット・リスト・モードがあります。セット・リストの各エントリーにソングを1つメモリーすることができ、1ソング内には最大4つのプログラムをセットでき、各プログラムはPROGRAMエリアにある〔**A**〕～〔**D**〕ボタンで瞬時に選択できます。

ソングで使用するプログラムを選択する

セット・リスト・モードに入っている状態で〔**A**〕～〔**D**〕ボタンのいずれかを押すと一時的にプログラム・モードに入り、その時選択されているソングで使用するプログラムを〔**PROG**〕ダイアルを回して選択することができます。



上図はセット・リスト、ソング、プログラムの関係をまとめたものです。ここでのプログラムは通常のプログラムのようにプログラムの各パラメーターの設定等をメモリーするのではなく、各ソングで参照するプログラム番号をメモリーする方式になっています。このため、プログラムをエディットすると、そのプログラムをセット・リストのソングで使用している場合、プログラムのエディット内容がセット・リスト・モードにも反映されます。

ソング、セット・リストを保存する

セット・リストの保存方法はプログラムの保存方法と同じです。セット・リストのソングで使用するプログラムの選択が完了しましたら、次の手順で保存します：

1. 〔**STORE AS...**〕ボタンを押します（ディスプレイに「STORE AS」画面が表示されます）。この時、ソング名の先頭の文字にカーソルがあり、ハイライト表示になります。
2. 〔**SHIFT**〕ボタンを長押しすると、ソング名の下に文字がアルファベット順に表示されます。
3. 〔**SHIFT**〕ボタンを押したまま〔**PROG/MENU**〕ダイアルを回して入力したい文字を選択します。
4. 〔**SHIFT**〕ボタンを放すと選択した文字が入力され、ソング名の次の文字にカーソルが移動します。また、〔**VALUE**〕ダイアルを回してソング名の変更したい文字の位置にカーソルを移動できます。

文字を削除する場合は**DEL**（デリート）機能（PART LOWERの〔**SELECT**〕ボタン）を使用します。また、**INS**（インサート）機能（PART UPPERの〔**SELECT**〕ボタン）を使用してソング名のカーソル位置にスペースを挿入できます。

上記の手順を繰り返してソング名を入力します。入力が完了しましたら〔**STORE**〕ボタンをもう一度押し（「STORE TO」画面が表示されます）、〔**PROG**〕ダイアルを回して保存先を指定します。

既存のソング内容を変更して上書き保存する場合は、〔**STORE**〕ボタンを押して「STORE TO」画面に入ります。

エディットしたプログラムをセット・リスト・モードから保存する

エディットしたプログラムをセット・リスト・モードから保存することもできます。保存したいプログラムに対応する〔**A**〕～〔**D**〕ボタンのいずれかを押し、通常のプログラムを保存する手順で保存できます（詳しい手順は6ページの「プログラムの保存とリネーム」をご参照ください）。

LIST VIEWモード

Nord Electro 5には、プログラムやセット・リスト、ピアノ・サウンドやサンプル・シンセのサンプルをリスト表示してブラウズできるリスト・ビュー・モードがあります。

プログラム、セット・リストのリスト・ビュー

〔**LIST VIEW**〕ボタンを押すとプログラムやセット・リストがブラウズでき、〔**LIST VIEW**〕ボタンを押しながら〔**LIST**〕ダイアルを回すとスクロールできます。

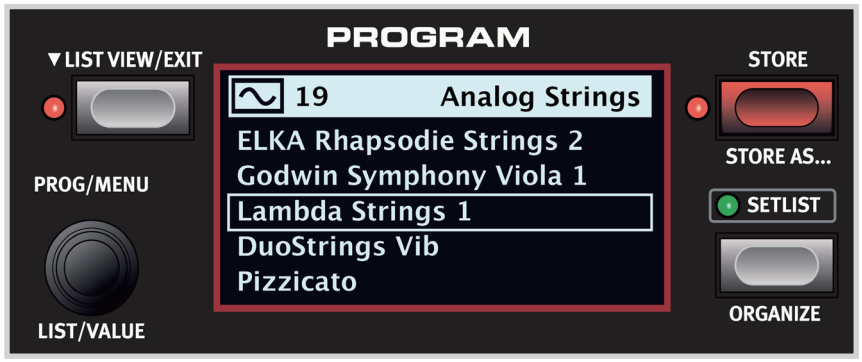
ピアノ・サウンドのリスト・ビュー

PROGRAMセクションにある〔**LIST VIEW**〕ボタンを押しながらPIANOセクションの〔**LIST VIEW**〕ボタンを押すと、本機に内蔵しているピアノ・サウンドがディスプレイにリスト表示されます。この時、〔**LIST**〕ダイアルを回すとスクロールできます。また、PIANOセクションのタイプ・セレクター（6種類のタイプを切り替えるボタン）やモデル・ボタンを押すと、それぞれ該当するサウンドに表示が切り替わります。

サンプル・シンセのリスト・ビュー

PROGRAMセクションにある〔**LIST VIEW**〕ボタンを押しながらSAMPLE SYNTHセクションの〔**LIST VIEW**〕ノブを回すと、サンプル・リストがディスプレイに表示されます。また、リスト最上段には選択したサンプルが本機にメモリーされている番号が表示されます。

リスト・ビュー・モードを解除するには、〔**EXIT**〕ボタンを押します。すると、リスト・ビュー・モードに入る直前に選択していたプログラムまたはセット・リスト画面の表示に戻ります。



サンプル・リストを表示している場合、〔SHIFT〕ボタンを押しながら〔LIST VIEW〕ボタンを押すと、その時選択しているサンプルのサイズや作成者の情報が表示されます。

オーガナイズ機能

オーガナイズ機能を使用すると、プログラムやセット・リストのソングを簡単に移動させることができます。また、移動は同一バンク内だけでなく、別のバンクに移動させることも可能です。

〔**SHIFT**〕ボタンを押しながら〔**ORGANIZE**〕ボタンを押すとオーガナイズ機能が動作し、プログラムやセット・リストのソングからリスト・ビュー・モードのオーガナイズ・モードに入ります（すでにリスト・ビュー・モードに入っている場合でも、同じ操作でオーガナイズ・モードに入れます）。〔**LIST**〕ダイアルを回すとプログラムやソングの選択位置が移動し、選択されたアイテムに上下矢印のアイコンが表示されます。

4. MIDI

Nord Electro 5は、外部MIDIコントローラーやシーケンサー、音源モジュールと併用する場合もできるだけ柔軟にお使いいただけるよう設計されています。このチャプターでは、Nord Electro 5と外部MIDI機器を接続して使用する最も一般的な例をご紹介します。各使用例ではそれぞれ必要となるMIDIメニューやKB SPLIT機能の設定が異なります。その各種設定は表をご覧ください。また、Nord Electro 5はMIDIコントロール・チェンジ・メッセージ(MIDI CC)の送受信も行えます。本機の各パラメーターに対応するMIDI CCのリストは、21ページをご参照ください。

MIDIメニューの設定	
パラメーター	*設定*
Local Control Mode	ONまたはOFF
Channel Global	1～16
Channel Lower Rcv	1～16またはOFF
Channel Upper Rcv	1～16またはOFF
Channel Upper Split	1～16またはOFF

MIDIメニューの設定	
パラメーター	*設定*
KB Split	OFF
KB Split Point	–

使用例1:Nord Electro 5をコントローラーとして使用する

Nord Electro 5はコントローラー・キーボードとして使用でき、本機のキーボードで音源モジュールなどを演奏できます。ローカル・コントロール・モードは、本機のサウンドを外部音源モジュールと同時に発音させてレイヤー・サウンドにしたい場合は「ON」に、外部音源モジュールのサウンドのみを発音させたい場合は「OFF」に設定します。

MIDI接続:Nord Electro 5の〔MIDI OUT〕端子と外部音源モジュールのMIDI IN端子を5ピン仕様のMIDIケーブルで接続します。

MIDIメニューの設定	
パラメーター	*設定*
Local Control Mode	ON
Channel Global	1～16またはOFF
Channel Lower Rcv	1～16またはOFF
Channel Upper Rcv	1～16またはOFF
Channel Upper Split	1～16

MIDIメニューの設定	
パラメーター	*設定*
KB Split	ON
KB Split Point	C3～F5

使用例2:Nord Electro 5のアッパー・パートでの演奏をMIDI送信する

キーボード・スプリット機能を使用した本セットアップで、アッパー・パートでのキーボード演奏を外部音源モジュールなどにMIDIメッセージとして送信できます。ロワー・パートを弾いた場合は本機のサウンドのみが発音し、アッパー・ハートを弾くと外部音源モジュールのサウンドも発音させたい場合に便利なセットアップです。この時、アッパー・パートのサウンドをオフにして外部音源モジュールのサウンドのみを発音させることもできますし、オンにして両方のサウンドを重ねて演奏することもできます。

サスティン・ペダルやコントロール・ペダルからのMIDIメッセージは、アッパー・パートを演奏した時にのみ送信できます。また、グローバルMIDIチャンネルで外部音源モジュールをコントロールする場合とは異なり、アッパー・パートのトランスポーズやオクターブ・シフトの情報もMIDIメッセージとして送信できます。

Nord Electro 5ではこの使用例の場合、スプリット・ポイントから高音域側のMIDIメッセージはグローバルMIDIチャンネルからは送信されませんのでご注意ください。これは、ノート・メッセージなどのMIDIメッセージを本機で二重に受信してしまうことを防ぐためです。このため、この使用例を実際に使用される場合は、MIDIメニューでアッパー・パートの送信MIDIチャンネル(Channel Upper Split)をグローバルMIDIチャンネル(Channel Global)とは別のチャンネルに設定してください。

MIDI接続:Nord Electro 5の〔MIDI OUT〕端子と外部音源モジュールのMIDI IN端子を5ピン仕様のMIDIケーブルで接続します。

使用例3:MIDIアッパー・レシーブ・モードでアッパー・パートのMIDIメッセージを受信する

この使用例は、Nord Electro 5は外部MIDIキーボードからのMIDIメッセージを受信してアッパー・パートの音色を演奏する設定です。ロワー・パートはNord Electro 5のキーボードで演奏できます。この設定の場合、Nord Electro 5のキーボード全域でロワー・パートが演奏でき、アッパー・パートは外部MIDIキーボードからのみ演奏できます。

MIDI接続:Nord Electro 5の〔MIDI IN〕端子と外部MIDIキーボードのMIDI OUT端子を5ピン仕様のMIDIケーブルで接続します。

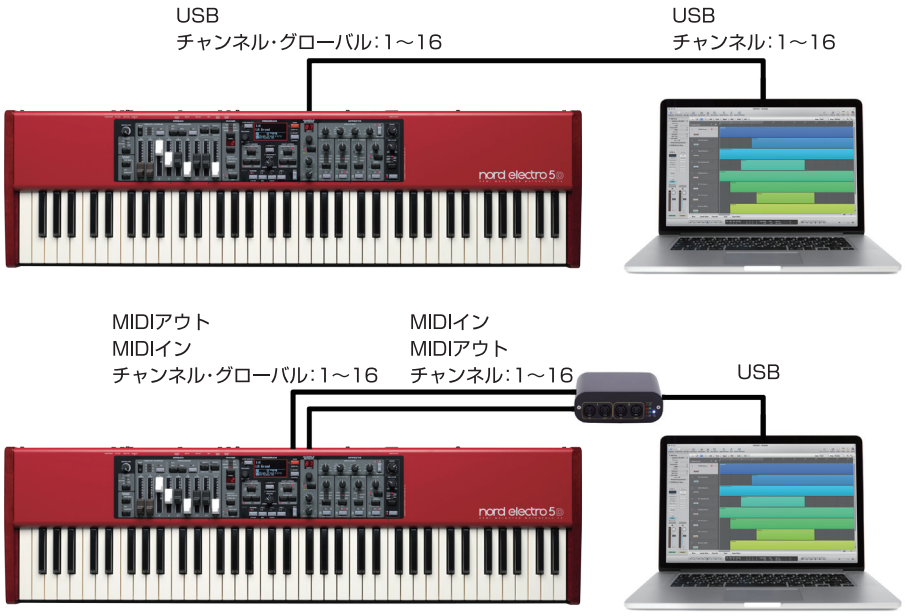
MIDIメニューの設定	
パラメーター	*設定*
Local Control Mode	ON
Channel Global	1〜16またはOFF
Channel Lower Rcv	1〜16またはOFF
Channel Upper Rcv	1〜16またはOFF
Channel Upper Split	1〜16

MIDIメニューの設定	
パラメーター	*設定*
KB Split	ON
KB Split Point	MIDI Upper Rcv

使用例4:シーケンサーを使用する

シーケンサーを接続して使用する際は、いくつかのMIDI設定が考えられますが、使用例1のように本機のキーボードをコントローラーとしてのみ使用し、DAWのソフトシンセをコントロールしたり、MIDIデータをレコーディングし、そのデータでNord Electro 5を演奏させたりするのが一般的なセットアップと言えるでしょう。

そのようなセットアップでは、グローバルMIDIチャンネルでMIDIデータを本機から送信し、そのMIDIデータをシーケンサーやDAWから受信するのが最も一般的です。これにより、本機のキーボードを弾いてもシーケンサーをプレイバックしても同じ音色で演奏できます。この時、MIDIデータがループして音が二重になってしまうのを防ぐために、MIDIメニューのChannel Lower Rcv、Channel Upper Rcvはどちらも「OFF」にしておきましょう。

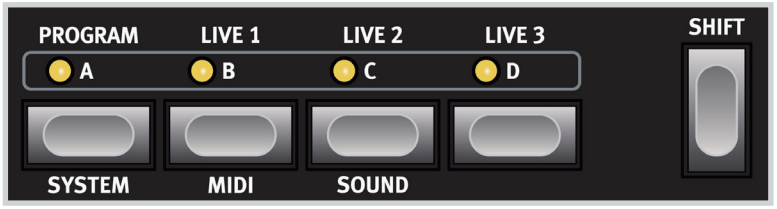


MIDI接続:USBケーブルでNord Electro 5とコンピュータを接続するか、または5ピン仕様のMIDIケーブルでNord Electro 5の〔MIDI OUT〕、〔MIDI IN〕の各端子とお使いのMIDIインターフェイスを接続します。

MIDIメニューの設定	
パラメーター	*設定*
Local Control Mode	OFF
Channel Global	1〜16またはOFF
Channel Lower Rcv	OFF
Channel Upper Rcv	OFF
Channel Upper Split	1〜16またはOFF

MIDIメニューの設定	
パラメーター	*設定*
KB Split	ON
KB Split Point	MIDI Upper Rcv

5. メニュー



本機全体の環境設定やMIDIの設定、ピアノやB3モデル、ロータリー・スピーカー・セクションの各種設定は、**SYSTEM**、**MIDI**、**SOUND**の各メニューで行います。それぞれのメニューの各パラメーターは〔**MENU**〕ダイアルを回して切り替えることができ、各パラメーターの設定は〔**SHIFT**〕ボタンを押しながら〔**MENU**〕ダイアルを回して変更できます。

各メニューでは、設定を変更すると自動的に保存されますが、例外としてMIDI Local Control On/Off（MIDIローカル・コントロール）は、本機の電源投入時に「ON」にリセットされます。

SYSTEM

MEMORY PROTECT：工場出荷時のデフォルト設定では「ON」にセットされ、プログラムを誤って消してしまうことを防ぎます。プログラムを保存する際は「OFF」にセットします。

GLOBAL TRANSPOSE：デフォルト設定は「0」です。最大±6半音の範囲で本機全体のピッチをトランスポーズできます。

FINE TUNE：本機全体のピッチを微調整する際に使用します。デフォルト設定は「0」で、A4=440Hzになります。最大±50セント（半音）の範囲で調整できます。

SUSTAIN PEDAL：お使いのサスティン・ペダルの仕様（極性）に合わせて「Closed」または「Open」に変更できます。「AUTO」（デフォルト設定）の場合、極性を自動検知します。

CONTROL PEDAL TYPE：主なエクスプレッション・ペダルの特性のプリセットを内蔵し、お使いのペダルに合わせてセットできます。

ROTARY CONTROL：ロータリー・スピーカーのスピード切替を行うスイッチの極性を設定します。お使いのフットスイッチ等に合わせて「Closed」、「Open」、「Half Moon」から選択できます。

ROTARY PEDAL：フットスイッチでロータリー・スピーカーのスピード切替を行う際の動作モードを「Toggle」、「Hold」のどちらかに選択できます。「Hold」では、ペダルを踏んでいる間だけファストに切り替わり、「Toggle」の場合はペダルを踏む都度スピードが切り替わります。

ORGAN B3 TRIG：（Nord Electro 5 HPのみ）B3モデルが発音するトリガー・モードを「Fast」、「Slow」から選択できます。「Fast」では、鍵盤を弾くと早めにトリガーがかかり、オリジナル同様のキレのある演奏ができます。

OUTPUT ROUTING MODE：オーディオ信号の出力設定を行います。デフォルト設定の「Stereo」で、ロワー/アッパー・パート共にステレオで出力します。「PartL:L, PartU:R」モードでは、両パートともモノラルとなり、ロワーは〔LEFT OUT〕端子から、アッパーは〔RIGHT OUT〕端子からそれぞれ出力されます。

MIDI

LOCAL CONTROL MODE：このパラメーターでローカル・コントロールのオン/オフを切り替えます。また、本機の電源投入時は「ON」にリセットされます。「OFF」の場合、音源部は受信したMIDIメッセージにのみ反応します。

CHANNEL GLOBAL：本機で送受信するMIDIグローバル・チャンネルを1（デフォルト）～16、または「OFF」に設定します。

CHANNEL LOWER RECEIVE：ロワー・パートの受信MIDIチャンネルを1～16、または「OFF」（デフォルト）に設定します。

CHANNEL UPPER RECEIVE：アッパー・パートの受信MIDIチャンネルを1～16、または「OFF」（デフォルト）に設定します。

CHANNEL UPPER SPLIT：キーボード・スプリット機能が「ON」の場合で、MIDIチャンネルが「MIDI Upper Split」モード時にアッパー・パートが受信するMIDIチャンネルを1～16、または「OFF」（デフォルト）に設定します。

CONTROI CHANGE MODE：コントロール・チェンジ・メッセージ（MIDI CC）の送受信設定を「OFF」、「Send」（送信のみ）、「Receive」（受信のみ）、「Send/Receive」（送受信する）から選択できます。

PROGRAM CHANGE MODE：プログラム・チェンジ・メッセージの送受信設定を「OFF」、「Send」（送信のみ）、「Receive」（受信のみ）、「Send/Receive」（送受信する）から選択できます。

SOUND

PIANO STRING RES：ピアノのストリング・レゾナンスの音量レベルを-6dB～+6dBの範囲で設定します。デフォルト設定は「0dB」です。

B3 TONEWHEEL MODE：トーンホイールのクロストークやリーケージ・ノイズのレベルを「Clean」、「Vintage1」（デフォルト設定）、「Vintage2」、「Vintage3」から選択します。

B3 KEY CLICK：B3モデルのキー・クリックのレベルを「Low」、「Normal」（デフォルト）、「High」、「Higher」から選択できます。

B3 KEY BOUNCE：鍵盤を放した時のクリック音の設定をオン/オフ切替します。「ON」の場合、鍵盤を素早く放すとクリック音が出ます。

B3 PERC DB9 MUTE：「ON」の場合、パーカッション使用時はドローバー9（1'）がミュートされるオリジナルの仕様を再現できます。

B3 PERC DECAY FAST：B3モデルのパーカッション（ディケイ・ファスト時）のディケイ・タイムを「Short」、「Medium」（デフォルト）、「Long」の3段階で設定します。

B3 PERC DECAY SLOW：B3モデルのパーカッション（ディケイ・スロー時）のディケイ・タイムを「Short」、「Medium」（デフォルト）、「Long」の3段階で設定します。

B3 PERC VOLUME NORMAL：パーカッション・ボリュームがノーマル時の音量を「Low」、「Medium」（デフォルト）、「High」の3段階で設定します。

B3 PERC VOLUME SOFT：ボリュームをソフトにセットした時のパーカッションの音量を「Low」、「Medium」（デフォルト）、「High」の3段階で設定します。

ROTARY SPEAKER TYPE：ロータリー・スピーカーのタイプを「122」（デフォルト）、「122Close」（マイクをより近づけた状態：スピーカー・エミュレーションは同一です）のどちらかに設定します。

ROTARY BALANCE：ロータリー・スピーカーのベース・ローターとトレブル・ホーンの音量バランスを「70/30」、「60/40」、「50/50」（デフォルト）、「40/60」、「30/70」から選択できます。

ROTARY HORN SPEED：トレブル・ホーンのスピードを「Low」、「Normal」（デフォルト）、「High」から設定します。

ROTARY HORN ACC：ロータリーのスピードを切り替えた時のトレブル・ホーンの加減速スピードを「Low」、「Normal」（デフォルト）、「High」から設定します。

ROTARY ROTOR SPEED：ベース・ローターのスピードを「Low」、「Normal」（デフォルト）、「High」から設定します。

ROTARY ROTOR ACC：ロータリーのスピードを切り替えた時のベース・ローターの加減速スピードを「Low」、「Normal」（デフォルト）、「High」から設定します。

6. NORD SOUND MANAGER

Nord Sound Managerはピアノやサンプル・シンセのサウンドをNord Electro 5とコンピュータとの間で転送したり、プログラムやセット・リストの整理や並べ替え、Nord Electro 5のデータ・バックアップなどを行う際に必要となるアプリケーションで、Windows、Mac OS Xの両方に対応しています。このチャプターでは、Nord Sound Managerの最も一般的な使用例をいくつかご紹介します。また、本アプリケーションの詳細なマニュアルはNordウェブサイトからダウンロードできます。

動作環境

Nord Sound Managerアプリケーションは、Mac OS X 10.4以降、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8で動作します。

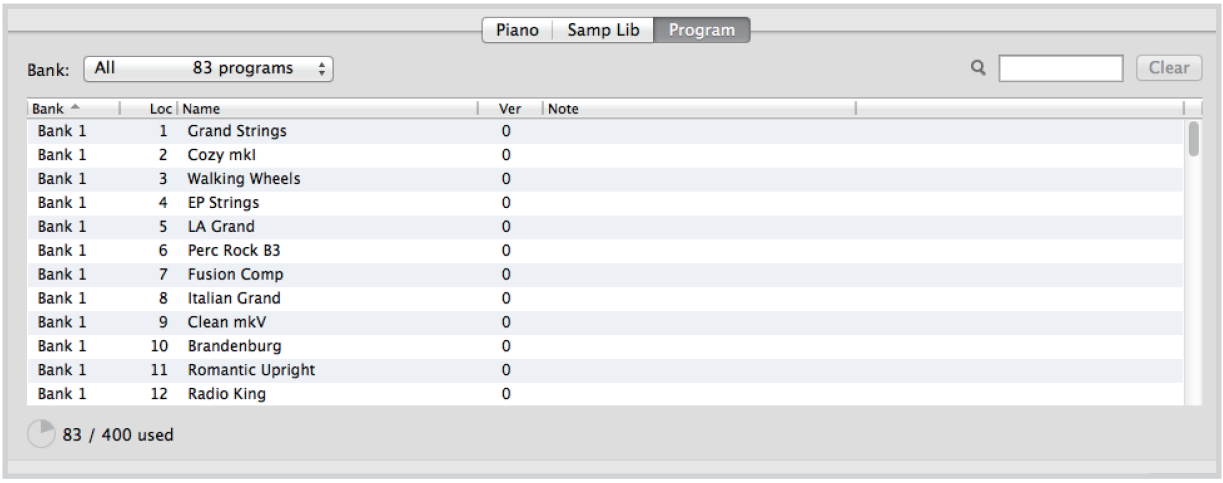
インストールする

最初のステップはNord Sound Managerの最新バージョンをNordウェブサイトからダウンロードします。

Windows：「Nord Sound Manager v6.xx Setup.exe」ファイルをダブルクリックし、表示される指示に従って作業を進めます。インストールが完了しますと、スタート・メニューにアプリケーションが入ります。

Mac OS X：「Nord Sound Manager v6.xx.dmg」ファイルをダブルクリックし、表示されたバーチャル・ハードディスクにあるNord Sound Managerアプリケーションをお使いのアプリケーション・フォルダにドラッグします。

オーバービュー



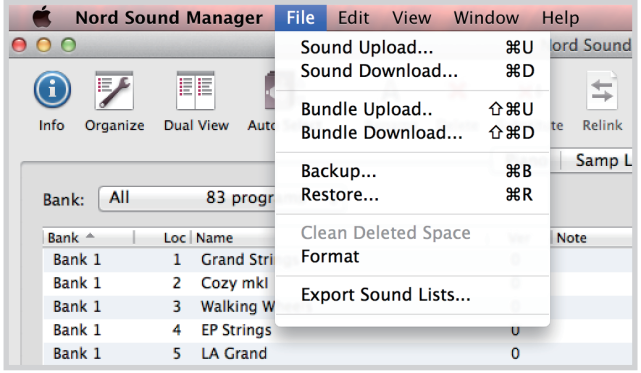
Nord Sound Managerのメイン画面はリスト・ビューで、Piano、Samp Lib、Programのタブでそれぞれのパーティション切替ができます。各パーティションの内容はタブをクリックするとリスト表示します。また、リストの上にあるドロップダウン・メニューでバンク切替ができ、リストの下にはその時に表示しているパーティションのメモリー使用状況が表示されます。

アプリケーション画面の上部にはよく使う機能のアイコンが並んだツールバーがあり、各機能にクイックにアクセスできます。アイコンが薄く表示されている場合、その機能はその時に開いているパーティションでは使用できません。
また、画面最上段のメニューからは本アプリケーションの全機能がアクセスでき、機能によってはさらに詳細なオプションを選択できるものもあります。

サウンドやサンプルをダウンロードして転送する

Nord Pianoライブラリー、Nord Sampleライブラリーの各サウンドは、Nordウェブサイトから無料でダウンロードできます。

Nord Pianoライブラリーは、グランド・ピアノやアップライト・ピアノ、エレクトリック・ピアノやクラビネット、ハープシコードなど、豊富なピアノ系サウンドがあり、常に拡張し続けています。Nord Electro 5の工場出荷時には、すでに豊富なサウンドを内蔵していますが、最新のサウンドや同じサウンドのサイズ違いのサウンドなどと入れ替えることができます。ピアノ・サウンドのサイズ別の機能比較につきましては、9ページをご参照ください。

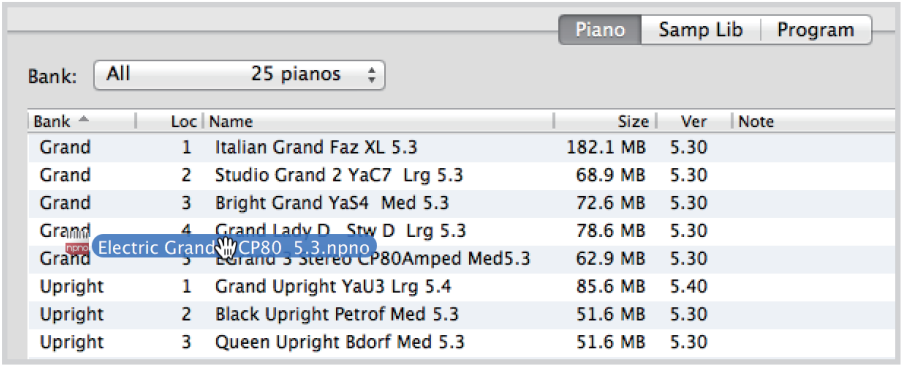


Nord Sampleライブラリーはビンテージから最新、アコースティックからエレクトリックまで幅広い高品位サウンドをカテゴリーごとに分類した膨大なライブラリーです。

ℹ *Nord Pianoライブラリー、Nord Sampleライブラリーに収録の各サウンドやサンプルは、いずれもロスレス圧縮アルゴリズムを採用しています。これにより、少ないメモリー容量でも極めてクリアで高品位なサウンドをお使いのNord Electro 5で演奏できます。*

ピアノ・サウンドをダウンロードする

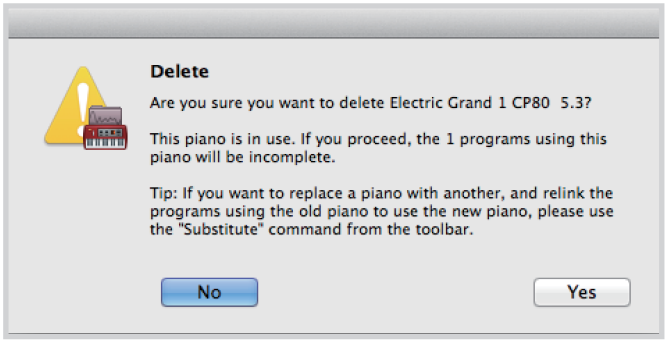
ピアノ・サウンドをダウンロードするには、まずNordウェブサイトのNord Piano Libraryセクションにアクセスします。ダウンロードしたいサウンド、サイズのダウンロード・リンクをクリックするだけで、そのサウンドがお使いのコンピュータにダウンロードされます。ダウンロードしたサウンドをNord Electro 5に転送するには、まずNord Electro 5とコンピュータをUSBケーブルで接続し、Nord Sound Managerアプリケーションを起動します。次に**Piano**タブを開き、ダウンロードしたピアノ・サウンド（拡張子「**.npno**」）のファイルをリストにドラッグ&ドロップします。これでピアノ・サウンドがNord Electro 5に自動的に転送されます。



サンプル・シンセのサンプルをダウンロードする

サンプル・シンセのサンプルをダウンロードするには、NordウェブサイトのNord Sample Libraryセクションにアクセスします。ほとんどのサウンドは各サウンド（拡張子「**.nsmp**」）ファイルをまとめた**.zip**ファイルとしてダウンロードされます。ダウンロードが完了しましたら、.zip ファイルを解凍し、Nord Electro 5とコンピュータをUSBケーブルで接続し、Nord Sound Managerを起動し、**Samp Lib**タブを開いてからダウンロードしたサウンドをドラッグ&ドロップしてNord Electro 5に転送します。

サウンドやサンプルをデリートする



PianoやSamp Libパーティションのメモリー内容が上限に近く、新たなサウンドやサンプルを入れるには使用していないサウンドやサンプルをデリート（削除）する必要がある場合もあります。そのような場合、削除したいサウンドやサンプルが入っているパーティション（PianoまたはSamp Lib）のリストを開き、削除したいサウンドやサンプルをクリックしてツールバーにある**Delete**アイコンをクリックします。すると、上図のようなダイアログが表示され、「Yes」をクリックすると削除を実行します。

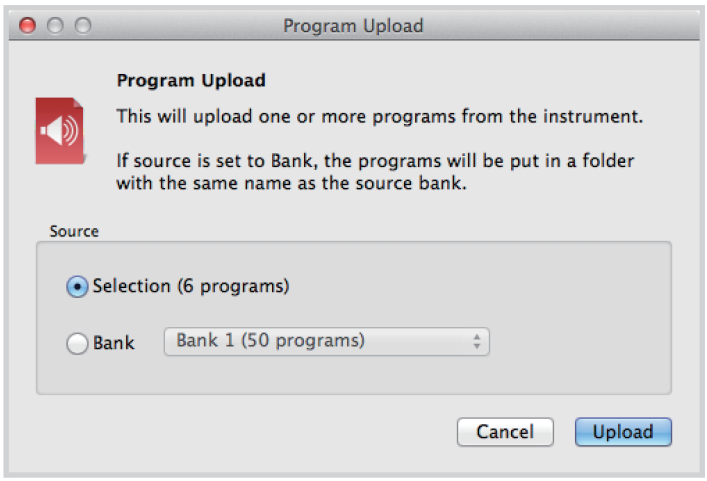
サウンドやサンプルを入れ替える

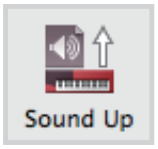
また、サウンドやサンプルを別のもの、例えばプログラムの設定はそのままで、サイズ違いのピアノや別のサンプルに入れ替えたい場合があるかも知れません。そのような場合は、入れ替えたいサウンドやサンプルが入っているパーティションを開き、リストから入れ替えたいサウンドやサンプルをクリックして選択し、ツールバーにある**Substitute**ボタンをクリックします。すると入れ替えるサウンドやサンプルを指定するダイアログが開きますので、入れ替えるサウンド（.npnoファイル）やサンプル（.nsmpファイル）が入っている場所を指定し、ダイアログの「Substitute」をクリックします。

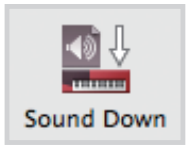
バックアップを取る

Nord Electro 5で作成したプログラムは、コンピュータにバックアップを取ることができ、個々のプログラム・ファイルである「.ne5p」ファイルの他に、バンドル形式の「.ne5pb」ファイルとしてコンピュータに保存できます。バンドル・ファイルには、プログラム・データの他、そのプログラムで使用するピアノ・サウンドやサンプルのデータも含まれます。

サウンド・アップ、サウンド・ダウン



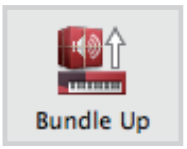


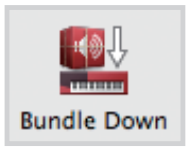


プログラムやピアノ・サウンド、サンプルをNord Electro 5からコンピュータにアップロードするには、アップロードしたいファイルをリストから選択し、ツールバーにある**Sound Up**アイコンをクリックします。すると上図のようなダイアログが開き、選択したファイルをアップロードするか、あるいはバンク全体をアップロードするかを選択できます。選択後、ファイルのコンピュータ上での保存先を指定してからアップロードを実行します。

プログラムやピアノ・サウンド、サンプルをコンピュータからNord Electro 5にダウンロードするには、ダウンロードするファイルに合ったリストを開き、ツールバーにある**Sound Down**アイコンをクリックします。するとダイアログが開き、ソース・エリアでダウンロードするファイルやフォルダ、オプションを選択できます。デスティネーション・エリアではダウンロードするファイルをその時開いているバンクに保存できる他に、選択したバンク全体のデータを書き換えることもできます。

バンドル・アップ、バンドル・ダウン





複数のプログラムを選択してコンピュータにアップロードする場合は、プログラムを選択してツールバーにある**Bundle Up**アイコンをクリックします。するとダイアログが開き、選択したプログラムをアップロードするか、プログラム・バンク全体をアップロードするかを選択できます。選択後、バンドル・ファイルのコンピュータ上の保存先を指定してアップロードを実行します。

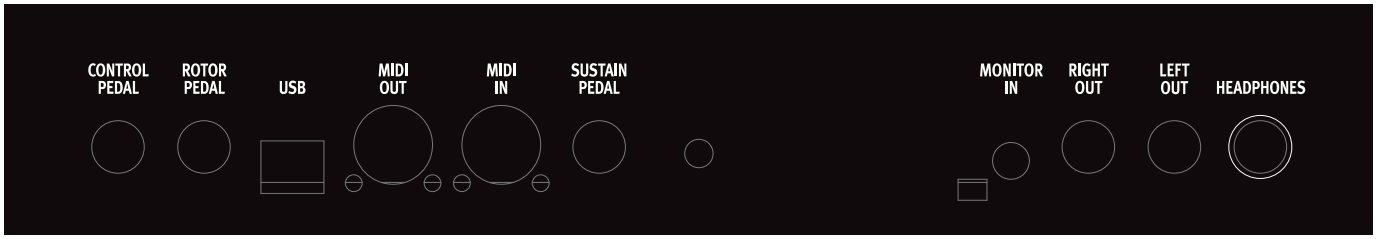
バンドル・ファイルをNord Electro 5にダウンロードするには、**Program**タブを開き、タブの上部にあるドロップダウン・メニューからバンドル・ファイルを保存したいバンクを選択します。次にツールバーにある**Bundle Down**アイコンをクリックするとダイアログが開きますので、ダウンロードしたいバンドル・ファイル(.ne5pb)を選択します。選択後、Nord Sound Managerがバンドル・ファイルに入っているプログラム・データやサウンドが正しいファイルかどうかをチェックします(ベリファイ)。また、バンドル・ファイルを指定したバンクに保存できる他に、選択したバンク全体のデータを書き換えることもできます。

バックアップ、レストア

Nord Electro 5にメモリーされている全データ(プログラム、セット・リスト、ピアノ・サウンド、サンプル)をまとめて1つのファイル(バックアップ・ファイル)としてコンピュータにバックアップを取ることができます。手順は、ツールバーにある**Backup**アイコンをクリックします。次にバックアップ・ファイルのコンピュータ上の保存先を指定します。この時、ファイル名を変更することもできます。デフォルト設定では、ファイル名は「Backup YYYY-MMDD.ne5b」となります(Y:年、M:月、D:日)。**Save**をクリックするとバックアップ処理がスタートします。この処理は完了までに少し時間がかかりますのでご了承ください。

バックアップ・ファイルをNord Electro 5に転送することをレストアと呼びます。レストアを行うには、ツールバーにある**Restore**アイコンをクリックします。するとダイアログが開き、レストアしたいバックアップ・ファイル(.ne5b)を選択して**Open**をクリックします。この時、レストアを実行しても良いかどうかを確認するダイアログが開きます。このダイアログにある**Show Details**ボタンをクリックすると、バックアップ・ファイルの内容をチェックできます。**Restore**ボタンをクリックするとレストア処理がスタートします。

付録 I：接続端子



オーディオ端子

オーディオ端子接続のルール：オーディオ端子の接続が完了してからアンプの電源を入れます。オーディオ端子の接続を取り外す際は、アンプやパワード・スピーカーの電源を切ってから行ってください。

HEADPHONES

1/4インチ（6.35mm）標準ステレオ・ジャックのヘッドフォン端子です。

LEFT OUT、RIGHT OUT

〔LEFT OUT〕、〔RIGHT OUT〕の各オーディオ端子は、ライン・レベルのオーディオ信号（アンバランス接続）を出力し、アンプやレコーディング機器に接続できます。Nord Electro 5は内部の信号経路もステレオ処理で、ステレオ出力ができます。

ℹ *大音量で長時間ご使用になりますと、難聴などの聴覚障害が起こることがあります。音量には十分にご注意ください。*

MONITOR IN

1/8インチ（3.5mm）ミニステレオ・ジャックです。スマートフォンやタブレット、コンピュータなどからのオーディオ信号をNord Electro 5に入力し、入力した音楽などに合わせて練習することができます。このジャックに入力されたオーディオ信号は、ヘッドフォン端子に出力されます。

MIDI端子

MIDI IN

MIDIコントローラーやキーボード、コンピュータなど、外部MIDI機器からMIDIメッセージを受信する際、この端子にMIDIケーブルを接続します。

MIDI OUT

音源モジュールやコンピュータなどの外部MIDI機器にMIDIメッセージを送信する際、この端子にMIDIケーブルを接続します。

USB端子

USBポートはNord Electro 5とコンピュータを接続する際に使用します。USB接続によりMIDIメッセージの送受信や、Nord Electro 5のOSアップデート、Nord Sound ManagerやNord Sample Editorアプリケーションを使用できます。この2つのアプリケーションの最新バージョンは、Nordウェブサイトからダウンロードできます。

ℹ *USBポートでの接続によるUSB-MIDI機能は、MIDI端子にMIDIケーブルが接続されている状態でもご使用になれます。このため、MIDIメッセージを送受信する端子をメニューなどで切り替える必要はありません。*

ペダル端子

SUSTAIN PEDAL

1/4インチ（6.35mm）標準ジャックのサスティン・ペダル端子です。システム・メニューでお使いのペダルの極性に合わせることができます。詳しくは、16ページの「SYSTEM」をご参照ください。

ROTOR PEDAL

1/4インチ（6.35mm）標準ジャックです。スイッチ・タイプのペダル（フットスイッチ）やサスティン・ペダル、またはオプションのHalf Moonスイッチが接続できます。ペダルやスイッチを操作すると、ロータリー・スピーカーの回転スピードが切り替わります。また、システム・メニューのRotary Control Type、Rotary Pedal Modeのパラメーターで回転スピードを切り替える方法を設定することができます。

CONTROL PEDAL

1/4インチ（6.35mm）TRSジャックです。コントロール・ペダル端子は、エクスプレッション・ペダルを接続してボリュームやエフェクトなどのパラメーターを連続的にコントロールする際に使用します。エクスプレッション・ペダルは、メーカーや機種により電気的特性が異なりますが、本機では主なペダルの特性をプリセットしていますので、システム・メニューでお使いのペダルを選択するだけでペダルの仕様に合わせることができます。

付録 II：MIDIコントローラー・リスト

Nord Electro 5パラメーター	MIDI CC #
Sustain	64
Control Pedal (Expression)	11
Part Lower Sound Engine Select	39
Part Upper Sound Engine Select	40
Part Lower Enable	41
Part Upper Enable	42
Part Mix Level	13
Ctrl Pedal Enable Part Lower	58
Ctrl Pedal Enable Part Upper	59
KB Split Mode	50
KB Split Point	51
Transpose Enable	52
Transpose Value	53
Octave Shift Part Lower	54
Octave Shift Part Upper	55
Sustain Pedal Enable Part Lower	56
Sustain Pedal Enable Part Upper	57
Program/Set List/Live mode toggle	48
Set List Slot Select	49
Piano Type	12
Piano Model	44
Piano Variation	45
Piano KBD Touch	46
Piano Acoustic	98
Piano Mono Mode	83
Organ Preset Select	3
Organ Model	9
Organ Drawbar 1	16
Organ Drawbar 2	17
Organ Drawbar 3	18
Organ Drawbar 4	19
Organ Drawbar 5	20
Organ Drawbar 6	21
Organ Drawbar 7	22
Organ Drawbar 8	23
Organ Drawbar 9	24
Organ Drawbar Live	25
Organ Percussion Enable	87
Organ Percussion Speed	88
Organ Percussion Level	89
Organ Percussion Harmonic	95
Ortan Vibrato Type	84
Organ Vibrato Enable	85

Nord Electro 5パラメーター	MIDI CC #
Sample Synth Attack	33
Sample Synth Release	34
Sample Synth Sample	35
Sample Synth Dynamics	36
Sample Synth Filter Velocity	37
Effect 1 Enable	69
Effect 1 Type	60
Effect 1 Rate	63
Effect 1 Part Select	71
Effect 1 Ctrl Pedal	73
Effect 2 Enable	80
Effect 2 Type	61
Effect 2 Rate	62
Effect 2 Part Select	72
Effect 2 Deep Mode	74
Spkr/Comp Type	81
Spkr/Comp Enable	86
Spkr/Comp Drive	111
Spkr/Comp Part Select	112
Rotary Stop Mode	79
Rotary Speed	82
Rotor Pedal	90
Delay Tempo	92
Delay Ping Pong	93
Delay Enable	94
Delay Dry/Wet	103
Delay Feedback	104
Delay Part Select	105
Reverb Type	96
Reverb Enable	97
Reverb Dry/Wet	102
EQ Treble	113
EQ Enable	115
EQ Mid	116
EQ Mid Frequency	117
EQ Bass	118
EQ Part Select	119
Gain Level	7

仕様

鍵盤部

- Nord Electro 5D 61 : 61鍵(5オクターブ、C～C)、ベロシティ・センス付きセミウェイテッド・ウォーターフォール・キーボード
- Nord Electro 5D 73 : 73鍵(6オクターブ、E～E)、ベロシティ・センス付きセミウェイテッド・ウォーターフォール・キーボード
- Nord Electro 5 HP : 73鍵(6オクターブ、E～E)、ベロシティ・センス付きハンマー・アクション・ポータブル・キーボード

ピアノ・セクション

- メモリー容量 : 1GB
- カテゴリー : 6カテゴリー(Grand、Upright、EPiano1 (tine)、EPiano2 (reed)、Clavinet、Harpsichord(各カテゴリーにはそれぞれ複数のモデルを内蔵)
- 全ピアノ・サウンドはNord Sound Managerアプリケーションを使用して入替可能
- アドバンスト・ストリング・レゾナンス機能(ジェネレーション2)
- ロング・リリース機能
- ダイナミック・カーブ : 4タイプ
- ステレオ・ピアノ、サンプルはモノラル再生も可能
- 同時発音数 : 40～60(ピアノ・サウンドにより変化します)

サンプル・シンセ・セクション

- メモリー容量 : 256MB
- 全サンプルはNord Sound Managerアプリケーションを使用して入替可能
- 工場出荷時にNord Sampleライブラリーから100種類のサンプルを内蔵
- アタック、ディケイ/リリース・コントロール
- ダイナミクス・コントロール(フィルター/ベロシティ)
- 同時発音数 : 15

オルガン・セクション

- パーカッション・レベル、ディケイ、キー・クリック・レベルを調整可能
- ビブラート/コーラス・コントロール : C1、C2、C3、V1、V2、V3(B3モデル)、ビブラート(Farfisa)
- トーンホイール・モデル(B3) : 4タイプ(Clean、Vintage 1～3)
- MIDIスプリット機能 : 外部MIDIキーボードを接続し2段鍵盤オルガンとして使用可能
- Half Moonスイッチ用マウント(Electro 5D 61/73のみ)
- Nord Electro 5D 61/73 : フィジカル・ドローバー×9
- Nord Electro 5 HP : デジタル・ドローバー(LED)

エフェクト・セクション

全エフェクトともステレオ仕様

エフェクト1

- 内蔵エフェクト : パン、トレモロ、ワウ、リング・モジュレーター
- デプス調整 : 3段階(パン、トレモロ)
- レイト調整 : RATEノブで調整可能
- 各エフェクトともエクスプレッション・ペダルでコントロール可能

エフェクト2

- 内蔵エフェクト : フェイザー1、フェイザー2、フランジャー、コーラス1、コーラス2、ビブラート
- デプス調整 : 2段階

アンプ・シミュレーション

- 内蔵エフェクト : アンプ/スピーカー・シミュレーション(3タイプ)、コンプレッサー、122ロータリー・スピーカー、チューブ・オーバードライブ
- ドライブ/コンプ量調整 : DRIVEノブで調整可能
- ロータリー・スピード : スロー、ファスト、ストップ
- マイク・プレースメント(ロータリー・スピーカー) : クローズ、ノーマル
- ロータリー・スピーカー : トレブル・ホーン、ベース・ローターの回転速度調整、加減速スピード調整可能
- イコライザー : 3バンド(トレブル、ミッド、ベース)、各バンドとも±15dBのブースト/カット可能、ミッドは中心周波数可変タイプ

マスター・エフェクト

- リバーブ : 5アルゴリズム(ルーム、ステージ・ソフト、ステージ、ホール・ソフト、ホール)、エフェクト・バランス調整可能(DRY/WETノブ)
- ディレイ : ディレイ・タイム(TEMPO)、エフェクト・バランス(DRY/WET)、フィードバック(4段階)、タップ・テンポ機能、ステレオ・ピンポン機能

接続端子

- オーディオ出力 : L/MONO、R、6.35mm標準ジャック(アンバランス)
- モニター入力 : 3.5mmミニステレオ・ジャック
- ヘッドフォン出力 : 6.35mm標準ステレオ・ジャック
- コントロール・ペダル入力 : 6.35mmTRSジャック
- サスティン・ペダル入力 : 6.35mm標準ジャック
- ローター・ペダル入力 : 6.35mm標準ジャック(フットスイッチ等をご使用ください)
- MIDI : MIDI IN、MIDI OUT(5ピンDINコネクター)
- USB : タイプBコネクター、USB-MIDI 機能
- 電源コネクター : IEC C14

付属品

- 取扱説明書
- 電源コード

外形寸法

- Nord Electro 5D 61 : 900 (W) x 296 (D) x 97 (H) mm
- Nord Electro 5D 73 : 1,066 (W) x 296 (D) x 97 (H) mm
- Nord Electro 5 HP : 1,074 (W) x 344 (D) x 121 (H) mm

重量

- Nord Electro 5D 61 : 8.1kg
- Nord Electro 5D 73 : 9.2kg
- Nord Electro 5 HP : 11.4kg

仕様は予告なく変更することがあります。

インデックス

英数

Acoustics 8
A-Dボタン 11
B3(オルガン・モデル) 7
B3+Bass 8
B3 Key Bounce 16
B3 Key Click 16
B3 Perc DB9 Mute 16
B3 Perc Decay Fast 16
B3 Perc Decay Slow 16
B3 Perc Volume Normal 16
B3 Perc Volume Soft 16
B3 Tonewheel Mode 16
Bundle Down 19
Bundle Up 19
Channel Global 16
Channel Lower Receive 16
Channel Upper Receive 15、16
Channel Upper Split 16
Control Change Mode 16
Control Pedal Type 16
Del(デリート) 12
DR WB Live 7
DR WB Sync 7
Exit 13
Farf(オルガン・モデル) 8
Global Transpose 16
Ins(インサート) 12
KBD Touch 9
KB Split 8、14
Local Control Mode 16
Mac OS X 17
Memory Protect 16
MIDI 14
MIDI接続 20
MIDIコントローラー・リスト 21
MIDI CC 21
MIDIイン 20
MIDIメニュー 16
MIDIアウト 20
MIDI Upper Receive 15
Mono 9
Ne5pbファイル形式 19
Ne5pファイル形式 19
Nord Pianoライブラリー 17
Nord Sampleライブラリー 18
Nord Sound Manager 17
Npnoファイル形式 18
Nsmpファイル形式 18
Organ B3 Trig 16
Organize 13
OSアップデート 20
Output Routing Mode 16
Piano String Res 16
Program Change Mode 16
Rotary Balance 16
Rotary Control 16
Rotary Horn Acc 16
Rotary Horn Speed 16
Rotary Pedal 16
Rotary Rotor Acc 16
Rotary Rotor Speed 16
Rotary Speaker Type 16
Samp Lib 17
Sound Down 19
Soundメニュー 16
Sound Up 19
Store To 12
Systemメニュー 16
USB接続 20
USB MIDI 20
VX(オルガン・モデル) 8
Windows 17

ア行

アウトプット 20
入れ替える 18
インストール 17
オルガン 7
オーディオ接続 20

カ行

外部キーボード 15
コピー(ライブ・メモリー) 6
コントロール・ペダル 20
コンピュータ 20

サ行

サード・ハーモニック 8
サスティン・ペダル 16、20
サンプル 18
ストリング・レゾナンス 9
セカンド・ハーモニック 8
接続 20
セット・リスト 11
セット・リストを保存する 12
ソフト 8
ソング 11

タ行

ダウンロード 8、17
タブ 17
ツールバー 17
デリート 18
トーンホイール 7
トーンホイール・オルガン 7
トランジスター・オルガン 7、8
ドローバー 7

ハ行

パーカッション 8
パーティション 17
パイプ 8
パイプ・オルガン 7
パイプの長さ 8
ピアノ 8
ピアノ・サイズ 8
ビブラート/コーラス 7、8
ファスト 8
ファイン・チューン 16
プリセット(B3) 7
ペダルの接続 20
別名で保存(Store As...) 6、12
ヘッドフォン 20
ベロシティ 9
保存する 6

マ行

メニュー 16
メニュー(Nord Sound Manager) 17
メモリー 8
メモリー・インジケーター 17
モデル・ディスプレイ 8
モニター・イン 20

ラ行

リスト・ビュー 12
ローター・ペダル 20
ローテート・スキャナー 7
ロング・リリース 8

アフターサービス

■ 保証書

本製品には、保証書が添付されています。
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。
なお、保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■ 保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■ 保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（電子回路などのように機能維持のために必要な部品）の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品（パネルなど）の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理を依頼される前に

故障かな？とお思いになったらまず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。
それでも異常があるときはお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

■ ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。
商品のお取り扱いに関するご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です

This product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product elsewhere. Any unauthorised modification or removal or originnal serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

お客様相談窓口　　TEL 0570 (666) 569

●サービス・センター：〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-15-12

輸入販売元: KORG Import Division
〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2
WEB SITE: http://www.korg.co.jp/KID/index.html

KORG

本社: 〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2　　URL: http://www.korg.co.jp

© 2015 KORG INC.

Printed in Japan